

*令和3年度予算・令和2年度補正予算が成立

静岡県議会2月定例会は、3月17日に最終日を迎え、議案を可決しました。喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策を中心に編成された令和3年度予算は、一般会計で初めて1兆3,000億円を越える過去最大規模の予算となりました。一方、県税収入は、前年度と比べ400億円減少する見込みとなっていますが、国からの補助金・交付金の増加がそれを上回っているという財源構成になっています。

具体的な内容については、コロナ関連ということで、感染予防や制度融資などの経済対策が手厚くなっています。それについて、限られた紙面で詳しくご紹介するのは難しく、新聞等でも報道されていますので、ここではコロナ以外のところで、我々の生活に関係深い防災政策について触れたいと思います。



*新たな地震・津波対策

県では「地震・津波対策アクションプログラム 2013」に基づき、近い将来発生する可能性が高いとされる南海トラフ巨大地震への備えを進めてきました。その中間報告として、昨年末県が発表したところでは、10万5,000人と想定される死亡者数について、その8割が削減される見込みとなったということでした。

このアクションプログラムの計画年次は残すところ2年となり、今回の定例会ではさらなる防災効果を上げるために、地震・津波対策等減災交付金を活用した事業について、一步踏み込んだ政策が示されました。これについては、我々の地域の防災対策に非常に関係がありそうなので、以下にその内容をご紹介します。



今回最も特徴的なのは、町内会やコミュニティが持つ公民館・公会堂を地域の防災拠点として整備するための支援策が盛り込まれたことです。

1「新たな避難先の創出」

まず、「地域の公民館の新築・建替」では、公民館の新築・改築時に防災コミュニティセンターとして整備し、地域の避難所として活用するとしてしました。公民館を、洋式トイレ・調理設備・和室といった避難生活機能や、非常用電源・発熱者等を隔離可能な区分けされた居室といった防災機能を備えた地域の防災拠点

にしようというものです。

「地域の公民館の改修」では、避難所として活用する場合の公民館の生活環境の向上や防災機能向上のための改修工事に対する補助が示されています。

「地域の公民館の安全対策」では、耐震化、ガラス飛散防止、落下物対策工事に対する支援が組まれています。

公民館以外のものは、次の通りです。

2 「避難所等の環境改善等」

「生活環境の改善」では、トイレトラック・災害時シャワーシステム・パーテーション・簡易ベッド等の購入といった生活環境改善用資機材の整備、また、無線インターネット用資機材等の情報通信環境関係資機材の整備といったことが対象になります。

「感染防止対策」では、パーテーション・消毒液・空気清浄機といったものが対象です。

主に自治会・町内会レベルのものと思われる。

3 「大規模停電対策」

「予防伐採の促進」ということで、市町が電力会社と連携して行う電線に近い樹木の予防伐採への補助です。

4 「住宅の耐震化等」

「命を守る対策」ということで、住民が防災ベッドを購入したり、耐震シェルターを整備する際に市町が補助金を出す場合の補助ということになっています。

それぞれ上限の金額は異なりますが、いずれも補助率は2分の1です。

ただし、注意しなければならない点もあります。

その一つは、市町ごとの配分が3千万円となっていることです。応募が多数となった場合には、1件当たりの配分は少なくなる可能性があります。

もう一つは、対象となる公民館・公会堂が市町の地域防災計画に位置付けられていることが条件になっていることです。これについては、市町の対応が必要となる場合があります。

まだ細部の詰めが十分ではない事業ですが、各地域や市町の防災体制を充実させる絶好の機会となります。まずは、市町



にどれくらいニーズがあるか把握していただく必要があると思いますが、そのためには住民の皆さんにもこの事業の活用について考えていただくことが重要です。

また、地元の業者で対応可能な事業になると思いますので、経済振興にも一役買ってくれるのではという期待もあります。

今後、この事業が使い勝手のいいものになるように細部を調整するとともに、希望件数が多い場合には補正予算での対応も考えるということでしたので、その点も含め、事業の実効性を上げるための努力を続けてまいります。

2年間という限られた期間となりますが、せっかくのチャンスですので、市町と連携を密にして、効果を上げたいと思っています。



みなさまのご意見ご要望をお寄せください。



河原崎きよし プロフィール

(略歴)

- 昭和 39 年 2 月 島田市生まれ
- 市内公立小中学校、藤枝東高校、早稲田大学政治経済学部を卒業
- 大石千八代議士秘書を経て、平成 9 年 4 月島田市議会議員初当選
- 平成 27 年 4 月 静岡県議会議員に初当選

(所属)

- 日本防災士会地方議員連絡会副会長
- 全国災害ボランティア議員連盟理事
- ふじのくに災害ボランティアコーディネーター
- 日本自治創造学会・構想日本会員
- 志太榛原小笠地区綱引連盟会長
- 志太榛原バスケットボール協会副会長
- 島田市バスケットボール協会会長

連絡先

(事務所)

〒427-0053
静岡県島田市御仮屋町 8855-2
TEL : 0547-36-5700
FAX : 0547-36-5705
E-mail : kawarazaki@thn.ne.jp